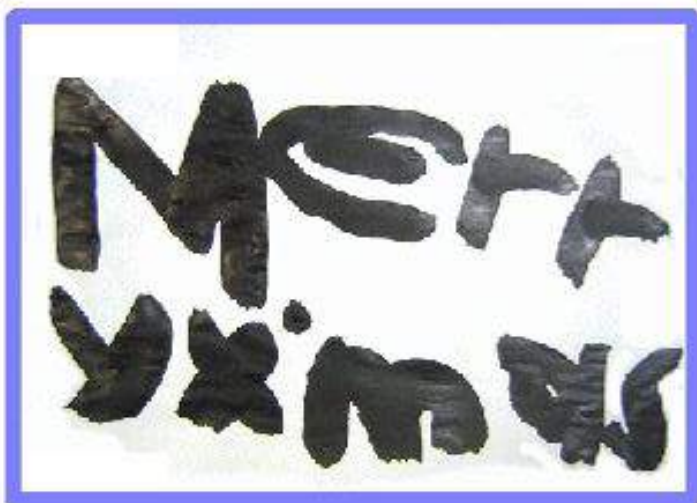


HSK 毎月十二回一・三・五・八・十・十三・十五・十八・二十・二十三・二十五・二十八日発行  
一九九四年八月四日 第三種郵便物承認

# HSK

## 遊ぼうよ

No. **75**

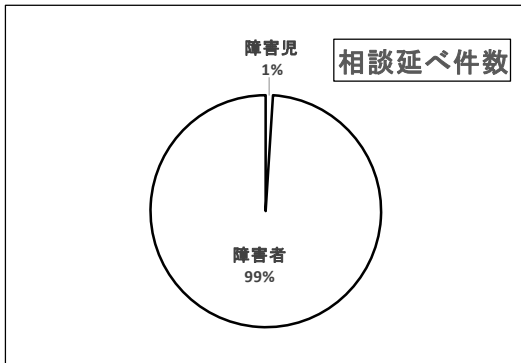


メリー・クリスマス (大石晃 作)



## 2014年4月～9月相談実績

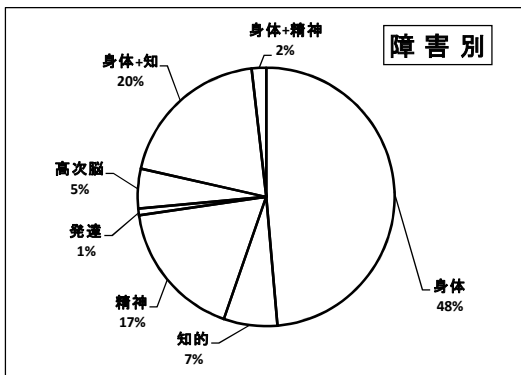
2014年度前期の相談実績をご報告いたします。



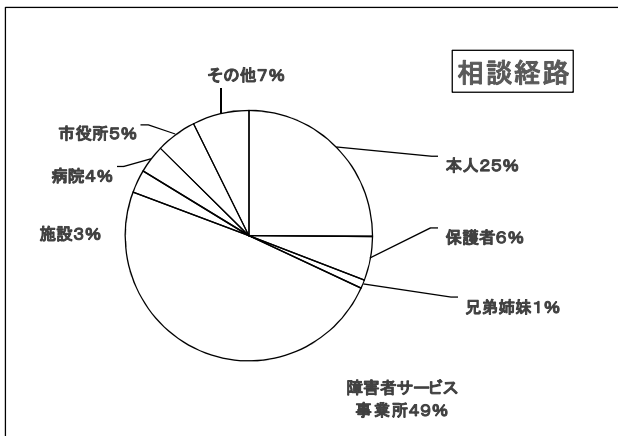
相談延べ件数は、昨年同時期と比較すると約2.3倍増となりました。増加の要因としては、

◇今年の4月から障害者総合支援法が施行され、障がい者の範囲に「難病」が加えられて計画相談でも関わるようになったこと。

◇昨年と同様に相談内容が、サービス調整にとどまらない困難な相談が増加していることと考えられます。



身体障害の方を対象とした相談は48%です。昨年同時期は全体の約半数でしたが、半数以下になりました。また、知的障害の方を対象とした相談は7%となっており昨年同時期より16%減少しました。精神障害の方を対象とした相談は17%です。昨年同時期は6%だったことを考えると大幅に増加しています。相談内容としては、ヘルパー利用の調整や就労継続支援事業所の利用での計画相談の依頼がありました。身体と知的の重複の障害の方の相談も昨年同時期と比較すると10%増加しました。



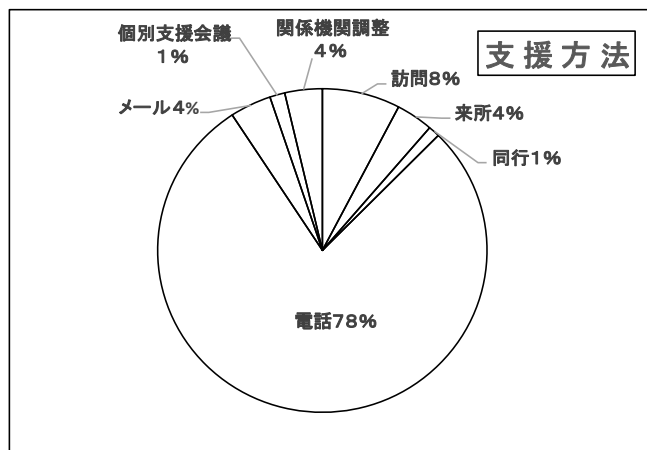
相談経路については事業所及び本人で7割強を占めています。

昨年同時期と比較すると本人からの相談は5%減少しましたが、事業所が15%増加しました。その他は4%増加し、主に成年後見人、保健所、地域包括支援センター、ケアマネジャー、就業・生活支援センターの方々からの相談です。

昨年と同様に電話相談は、福祉サービスの利用に際し事業所との連絡調整に関するものが概ねを占めています。

サービス利用に関する相談が7割を占めており、昨年同比約2倍です。その他の支援内容では、金銭管理、家族関係・人間関係、家事、就労、自立生活に関する相談がありました。また、介護保険移行後や退院後などに向けての日中活動の場を探すために、サービス提供事業所への同行もしています。

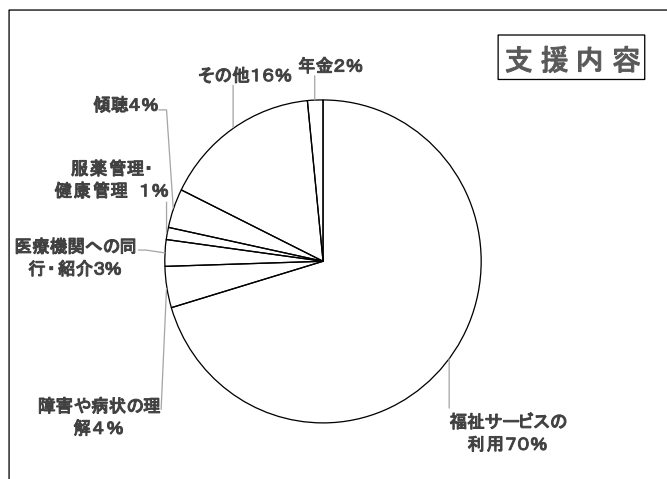
### 【4月から9月を振り返って】



計画相談が始まって3年目に入り、昨年同時期と比較すると相談件数は2倍以上増加しました。中途障害の方や視覚障害の方、難病の方、精神障害の方の相談が増えたと思います。また、自立生活体験室での利用を経てヘルパーやデイサービスを利用しながら1人暮らしを始めた方もおられます。

計画相談では聞き取りと書類作成だけでなく、利用者さんとサービス提供事業所との調整を行ったり、退院後・介護保険移行後に向けて日中活動の場を探すために同行したりしています。また、継続して関わっている方で必要に応じてケア会議を行い関係機関と情報交換をしていき、現状把握や問題があれば解決策を考えたりもしています。

計画相談では聞き取りと書類作成だけでなく、利用者さんとサービス提供事業所との調整を行ったり、退院後・介護保険移行後に向けて日中活動の場を探すために同行したりしています。また、継続して関わっている方で必要に応じてケア会議を行い関係機関と情報交換をしていき、現状把握や問題があれば解決策を考えたりもしています。



数値ではなかなか伝わりにくいと思いますが、聞き取りと書類作成だけでなく何度もサービス調整で連絡を取り合ったり、事業所への同行や利用者さんの元へ足を運ぶことが多いです。利用者さんの生活に触れていくためサービス調整にとどまらない困難な相談もあり、相談事業所としてどこまで関わっていくか模索しながら行っています。

# 私なりの運動(リハビリ)とは

私は、小さい頃の学校時代に「訓練」という時間が授業時間がありました。大人になってその「訓練」というものを否定的に捉えるようになりました。それは、障害の克服とか治す(又は治る)という意味が昔は色濃く出ていたからかもしれません。

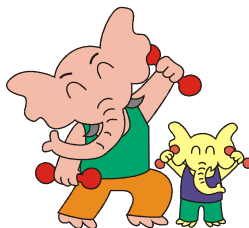
また、私自身10代の時に過酷な「訓練」によって歩けるようになったのは事実ですが、25才頃から手のしびれや歩けにくくなって来たりするようになりました。病院に行ったら「頸の骨にトゲが出ている」といわれ「10年後には寝たきりになるだろう」宣告されました。その宣告の時期は外れましたが、今でいう脳性麻痺の二次障害の始まりだったのだと思います。こんなことがあって「訓練」というものを否定的に捉えるようになりました。「訓練」をして歩けるようになって、結果的に歩けなくなるなら意味が無いと思うようになりました。

54歳の時に全介助になり寝たきりに近い状態になり、二次障害の手術を受けました。手術以降は徐々にリハビリ(最近では、訓練とは言わないようです)というもののとらえ方が変わってきました。手術をして下さった医師からは、どういふことをしたらよいか毎回アドバイスがあります。(脳性麻痺のリハビリを否定的に捉えているOT・PTの方もおられます。)

そんな中で、リハビリというか身体を動かす意味というものを私なりに理解していることは、以下のことです。

- ・筋力低下を防ぎ、筋力の維持。
- ・身体の緊張や拘縮を和らげる。
- ・骨密度の低下を防ぐ。
- ・免疫性を維持。(又は高める)

などが上げられると思います。



この前、受診した時に医師から言われたことは、「もう60才を超えたので、骨粗鬆症と脳梗塞のリスクがあるので、今の身体の状態をカードにして待って歩いたらいいよ」と言われました。つまり、脳梗塞の時の症状が普段から私たちが持っているしびれや言語障害・手足の麻痺等があるので知らない医師が診ても分からないといわれました。先生が経験されたお話として聞かせて頂きました。

自ら身を守ることが必要だと確かに思います。私自身、適度に身体を動かすことにより身体を動かすことが軽くなったり、何よりも風邪を引くことが少なくなりました。また、身体を動かすことでしびれや痛みが緩和されます。昔みたいに目的が障害を治すとか軽減することに重きをおくことよりも、上記に書いたことの方が納得しています。訓練とかリハビリとかストレッチとか、意味合いや目的が違うのか分かりませんが、私にとって自分の身体の状態を維持するのに必要なことと考えています。家でテレビを見ながらやれること、生活の合間に気軽に出来ること。そのことが毎日でも継続して出来ることがよいのではないだろうか。(文責・平井)

## 自立生活支援センター富山の主な動き

### 〈この間の活動報告〉

8月25日(月)	ケア会議参加	就労継続支援A型事業所清琉
8月28日(木)	ケア会議参加	富山市中央保健福祉センター
8月29日(金)	事務局会議	リーぶる事務所
8月30日(土)	送迎	富山市内
9月 2日(火)	第3回講師派遣平成26年度富山県相談支援従事者初任者研修	サンシップとやま
9月 2日(火)	ポストポリオネットワーク富山会議参加	高志リハビリテーション病院
9月 3日(水)	ケア会議開催	リーぶる事務所
9月 3日(水)	専門ワーキング	基幹相談支援室
9月 5日(金)	事務局会議	リーぶる事務所
9月 5日(金)	送迎	富山市内
9月 6日(土)	送迎	富山市内
9月 8日(月)	送迎	富山市内
9月10日(水)	送迎	富山市内
9月11日(木)	ケア会議開催	ジョブステーションさくら奥田事業所
9月12日(金)	事務局会議	リーぶる事務所
9月15日(月)	送迎	富山市内
9月16日(火)	出張ピアカン開催	高志ワークホーム
9月16日(火)	富山市内相談支援事業者連絡会	障害者プラザ
9月17日(水)	出張ピアカン開催	高志ライフケアホーム
9月19日(金)	事務局会議	リーぶる事務所
9月20日(土)	送迎	富山市内
9月20日(土)	東海北陸バリアフリー市民交流集会inみえ	アスト津
~21日(日)		
9月21日(日)	送迎	富山市内
9月22日(月)	送迎	富山市内
9月24日(水)	ケア会議開催	富山市保健所
9月26日(金)	事務局会議	リーぶる事務所
9月27日(土)	送迎	富山市内



10月 1日(水)	ケア会議開催	リーぶる事務所
10月 3日(金)	送迎	富山市内
10月 3日(金)	事務局会議	リーぶる事務所
10月10日(金)	事務局会議	リーぶる事務所
10月12日(日)	送迎	富山市内
10月15日(水)	出張ピアカン開催	高志ワイフケアホーム
10月15日(水)	専門ワーキング出席	基幹相談支援室
10月16日(木)	送迎	富山市内
10月18日(土)	送迎	富山市内
10月20日(月)	送迎	富山市内
10月20日(月)	第4回講師派遣「ヘルパー研修」	北陸ビジネス専門学校
10月21日(火)	出張ピアカン開催	高志ワークホーム
10月22日(水)	送迎	富山市内
10月22日(水)	相談支援ワーキング出席	障害者プラザ
10月24日(金)	事務局会議	リーぶる事務所
10月25日(土)	第5回講師派遣「福祉有償運送」	しおんの家
10月27日(月)	第6回講師派遣「ヘルパー研修」	北陸ビジネス専門学校
10月28日(火)	ケア会議参加	角川介護予防センター
10月29日(水)	自立支援協議会出席	富山市役所
10月30日(木)	富山市内障害福祉サービス事業者研修会参加	障害者プラザ
10月31日(金)	送迎	富山市内



# 新人さんを紹介します

## 鳥内唯香さん

今年の6月から勤めさせていただいています鳥内と申します。まるっきり知識のない状態からはじまり、日々精進とセンターでは勉強の毎日です。来年3月までの短い期間ですが、ご指導のほどよろしくお願いたします。



## 北野英里さん

はじめまして、9月からセンターで働かせていただいている北野英里です。

福祉に関する知識が乏しくまだまだ不慣れな事が多いですが一生懸命努力し日々精進していきたいと思えます。

最近遠ざかっていますが、スピッツ(犬ではありません)やMac(某ハンバーガー屋ではありません)が好きです。現在海外ドラマにハマっています。皆さんといろいろお話して、そのご縁を大切にしていきたいです。どうぞよろしくお願いたします。

2015年 富山生きる場センター  
オリジナルカレンダー

絵手紙風。



◆すうさんカレンダー第9弾◆

今年も生きる場センターのオリジナルカレンダーの季節がやってきました。2006年から始まった「すうさんカレンダー」も今年で9年目になります。毎年少しずつですが、販売部数も増えここまで続けることができました。まだ製作中ですが、皆さんのお手元に素敵な花の絵を届けられるように頑張ります。

イラスト作者: すう

～ 月別カレンダー ～

- 1月 [なすな]
- 2月 [私の座]
- 3月 [桃]
- 4月 [姫林檎]
- 5月 [カルミア]
- 6月 [梔子 (くちなし)]
- 7月 [黄檗 (はまぼろ)]
- 8月 [孔雀草]
- 9月 [マリーゴールド]
- 10月 [浜菊]
- 11月 [カラユエ]
- 12月 [プリムラ]

500 円

表紙+12ヵ月(フルカラー)  
サイズ: 100×148mm (ほか倍)

※尚、限定ですがB5サイズ(¥1000)のカレンダー注文も受け付けています。  
B5サイズのカレンダーの使用樹は絵葉書になります。

今年もカレンダー販売と年賀状印刷やっています!!  
カレンダーはハガキ大サイズ500円とB5版サイズ1000円の2種類あります。年賀状印刷もやっていますよ。  
(富山生きる場センター)



寒くなってきました。今年の冬は積雪はどうなんでしょうか。雪が積もると外出が難しくなる方も多いと思います。去年のような暖冬になるのでしょうか。  
生きる場センターは狭い空間に大勢でいるので、風邪の流行も気になります。「インフルエンザの予防注射を受けてきたよ」という話を聞きながら、マスクの備蓄量を確認したりしています。

(文責 田中)

\* 編集後記 \*

編集人: 特定非営利活動法人  
自立生活支援センター富山  
連絡先: 〒930-0024  
富山市新川原町5-9  
レジデンス新川原1F  
tel 076-444-3753  
fax 076-407-5557  
郵便振替: 00700-5-47253  
自立生活支援センター富山  
発行人: 北陸障害者定期刊行物協会  
富山市今泉312番地  
定 価: 90円  
年間購読料: 360円